

論文大募集

「岐阜県臨床検査技師会誌」 投稿論文募集

岐阜県臨床検査技師会では「岐阜県臨床検査技師会会誌」を毎年3月に発行しています！
今年も3月発行に向け、岐臨技会員皆様方からの多数の論文投稿をお待ちしております！！

掲載条件：日本医学検査学会・中部圏支部学会・岐阜県医学検査学会の演題や、
過去に「岐阜県臨床検査技師会誌」に投稿されていない論文であること。

投稿期限：岐臨技へ平成27年12月31日（木）までに投稿してください。
投稿論文を、岐臨技査読委員会で査読して、後日詳細を報告します。

投稿規定：原稿については「医学検査」の投稿規定に準じます。

【注意】医学検査投稿規定に準ずるとありますが、
岐臨技会誌論文について「、」「。」は、全て「,」「.」を使用することにします。

投稿方法：期日までに岐阜県臨床検査技師会事務所に、

①稿論文・②画像データ・③引用論文データをメールの添付ファイルで送って下さい。
岐臨技査読委員会で査読して詳細をメール報告し、初稿原稿を作成します。

連絡先：岐阜県臨床検査技師会事務所 TEL 058-275-5596

E-mail giringi-office@giringi.jp

【今後の予定】

平成28年1月～2月末までに岐臨技査読委員会
(副会長・学術部長・各部門長)にて内容を検討し、
初稿原稿作成・製本印刷して3月20日の事務局
発送で配布する予定です。



地域ニューリーダー育成研修会を終えて

J A 岐阜厚生連 揖斐厚生病院 関 敏秀



この度、10月24・25日の両日、日臨技主催の『地域ニューリーダー育成研修会』に参加させていただきました。

本研修会は、日臨技及び都道府県技師会の組織活性化及び組織強化学業の一環として開催されたものでした。対象者は、各都道府県より、30代後半から40代の都道府県技師会の役員経験者1名となっていましたので、岐阜県では、地区理事役員の中で一番若年の私が行くこととなりました。当初は、責任の重さと周りの重圧（各県の著名な先生方）に、意気消沈しておりましたが、ご挨拶を交わすと、「〇〇病院の□□さん、知っているよ。」「△△さん、同級生・・・」「兼子会長によろしくお伝え下さい・・・」などなど、岐阜県内の著名な先生方のおかげで、無事に皆様との交流を楽しむことができました。改めて、諸先生方のこれまでの功績の基に自分は立っているのだと感じさせられました。自分自身もこの恩恵を、後世に引き継がなければいけないと感じました。

研修内容は、～日臨技 第4次マスタープランを中心に日臨技が進める事業内容の理解～と題して、宮島会長から始まり、日臨技の執行役員の先生方による、日臨技の今後のビジョンについての講習会でありました。その中で、宮島会長は、

「リーダーは行動に出なければ存在の意味はない。」

「判断に迷った時は原点に戻る。“志”は高く、思想×情熱×能力=信念」
の2点がとても重要だとして講演されました。

また、経営コンサルタント 立石氏による～問題解決手法 TB(=Task Breakdown)を学ぶ～の実践研修を行いました。6つグループに分かれ各課題に取り組み、2日目 25日の10時30分までにプレゼン資料を作成し、その後、発表会を行うというものでした。

我々グループの課題は、～組織運営（組織体制・財政基盤・共益事業）日臨技に入会することで受けられるサービス（特に就労支援部分）を企画すること～でありました。グループ全員の意見集約と発表者（福井県 市立敦賀病院 河野先生）の活躍もあって1位を獲得しました。立石氏の講評によると“学生の会員取り込み”が好評でした。在学中から無料で入会させて、就職先が決定したら正式に会費を徴収し、在学中から非会員（中小病院・女性技師・CRCなど）対策も講じる、というものです。

最後に立石氏は、これからの医療業界を支える臨床検査技師（会）が、成すべき姿として、独占業務を作ること ex 遺伝子検査の結果説明、NST、チーム医療参加、新規事業参入など、そして一步前に出ること（可逆的な一步は行くべし）と、研修会をまとめられました。

今回の研修会では、1泊2日の東京研修会で楽しみの夜の時間まで拘束されて、成し得たグループの結末は“一生の宝物”とさえ錯覚するほど、有意義な研修会でありました。しかしながら、厚労省が進める“持続可能な社会保障制度の確立”を図るための様々な改革の「風」は、今の自分にとって明らかに“逆風”であります。10年後の自分にとって“追風”となるよう“一步前進”したいと思います。

第19回 大垣市市民の健康広場に参加して 大垣市民病院 加藤 康子

爽やかな秋晴れの中、大垣市市民の健康広場が10月18日(日) 大垣城ホールに於いて開催され、本年も岐阜県臨床検査技師会として参加しました。

ブース内にパネルを展示し、血管年齢・骨密度測定を行い、心筋梗塞・脳梗塞のチェックリストを用いた説明を実施し、リーフレットの配布活動を行いました。1,900名の来場者のうち、午前120名、午後115名、計235名の方々にブースを訪れていただき、検査に関心を持っていただくことができました。

「血管年齢」「骨密度」の測定ということもあり、高齢者が多かったのですが、中には高校生も測定に訪れ、臨床検査技師と言う耳馴染ない職業に興味を持ってもらえたりと、大変有意義な1日となりました。



12月 

部門別研修会

<第5回 臨床微生物部門研修会>

日 時：平成27年12月12日（土）14:00～18:00

場 所：岐阜大学医学部附属病院1階 多目的ホール

内 容：「感染症検査の最新トピックス2015」

講 師：東京医科大学 微生物学講座 教授 大楠 清文 先生

「臨床検査技師は救急分野でどんな活躍ができるか」

～救命救急検査士と感染症診療における検体採取から報告・解釈まで～

講 師：亀田総合病院 臨床検査部長 大塚 喜人 先生

備 考：研修会終了後に講師の先生を囲んで交流会（会費制）を予定しております。

交流会参加希望者は以下の事項を明記し、メールして下さい。

※研修会の参加申し込みは必要ありません。

① 設名・所属 ②氏名 ③連絡先メールアドレス

宛先：anakayam@gifu-u.ac.jp 中山 麻美

申し込み期限：12月4日（金）

（人数に限りがありますので、お早めにご連絡をお願い致します）

駐車場：病院駐車場をご利用下さい。（会場まで駐車券をお持ち下さい。）

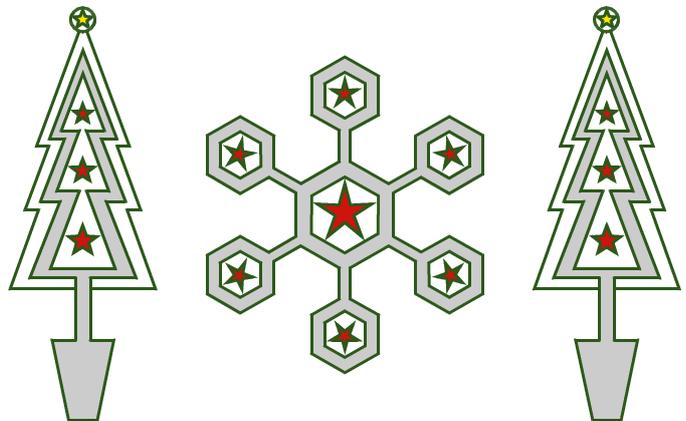
参加費：岐臨技会員は無料。県外技師会・日臨技のみの会員は300円、非会員は2,000円。

日臨技生涯教育制度…専門教科（20点）

共 催：ベックマンコールター株式会社

連絡先 岐阜大学医学部附属病院 検査部 中山 麻美

TEL 058-230-7259



広報宣伝部では会員の方からの寄稿を募集しています！！

発行所（一社）岐阜県臨床検査技師会

発行責任者 兼子 徹

〒500-8384 岐阜市藪田南3丁目5番地10 コスタ岐阜県庁前603号

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

編集者

諏訪 浩

森本 勝男

松浦 康博

E-mail

giringi-office@giringi.jp